

# 神津島の火山活動解説資料（平成 30 年 12 月）

気象庁地震火山部  
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。  
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

## 活動概況

- ・噴気など表面現象の状況（図 2）  
前浜南東監視カメラ（天上山の南西約 3 km）による観測では、天上山山頂部に噴気は認められません。
- ・地震や微動の発生状況（図 3 - 、図 4）  
神津島付近を震源とする火山性地震の発生は少なく、地震活動は低調に経過しています。火山性微動は観測されていません。
- ・地殻変動の状況（図 1、図 3 - ~ ）  
GNSS<sup>1)</sup>連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

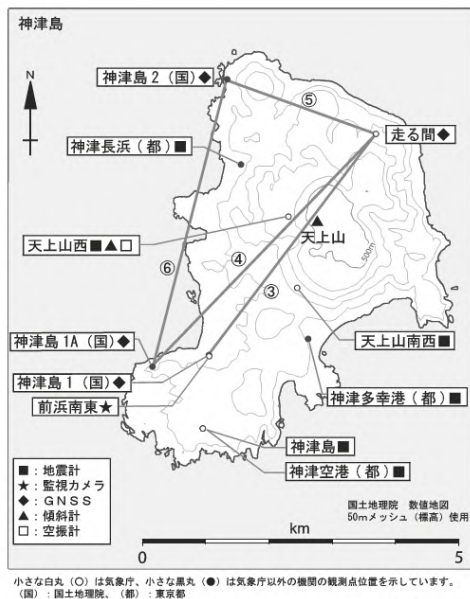


図 1 神津島 観測点配置図

GNSS 基線 ~ は図 3 の ~ に対応しています。  
神津島 1 から神津島 1A に 2014 年 9 月 19 日移設。



図 2 神津島 天上山山頂部の状況

（12 月 8 日、前浜南東監視カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（[https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)）でも閲覧することができます。

次回の火山活動解説資料（平成 31 年 1 月分）は平成 31 年 2 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東京大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、東京都及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 29 情使、第 798 号）。

【計数基準の変遷】  
 A型地震：2010年10月1日(観測開始)～ 天上山西から半径5km、深さ15km以内  
 BH型地震：2010年8月2日～2013年9月30日 天上山西振幅0.8 $\mu$ m/s以上  
 2013年10月1日～ 天上山西振幅4.0 $\mu$ m/s以上

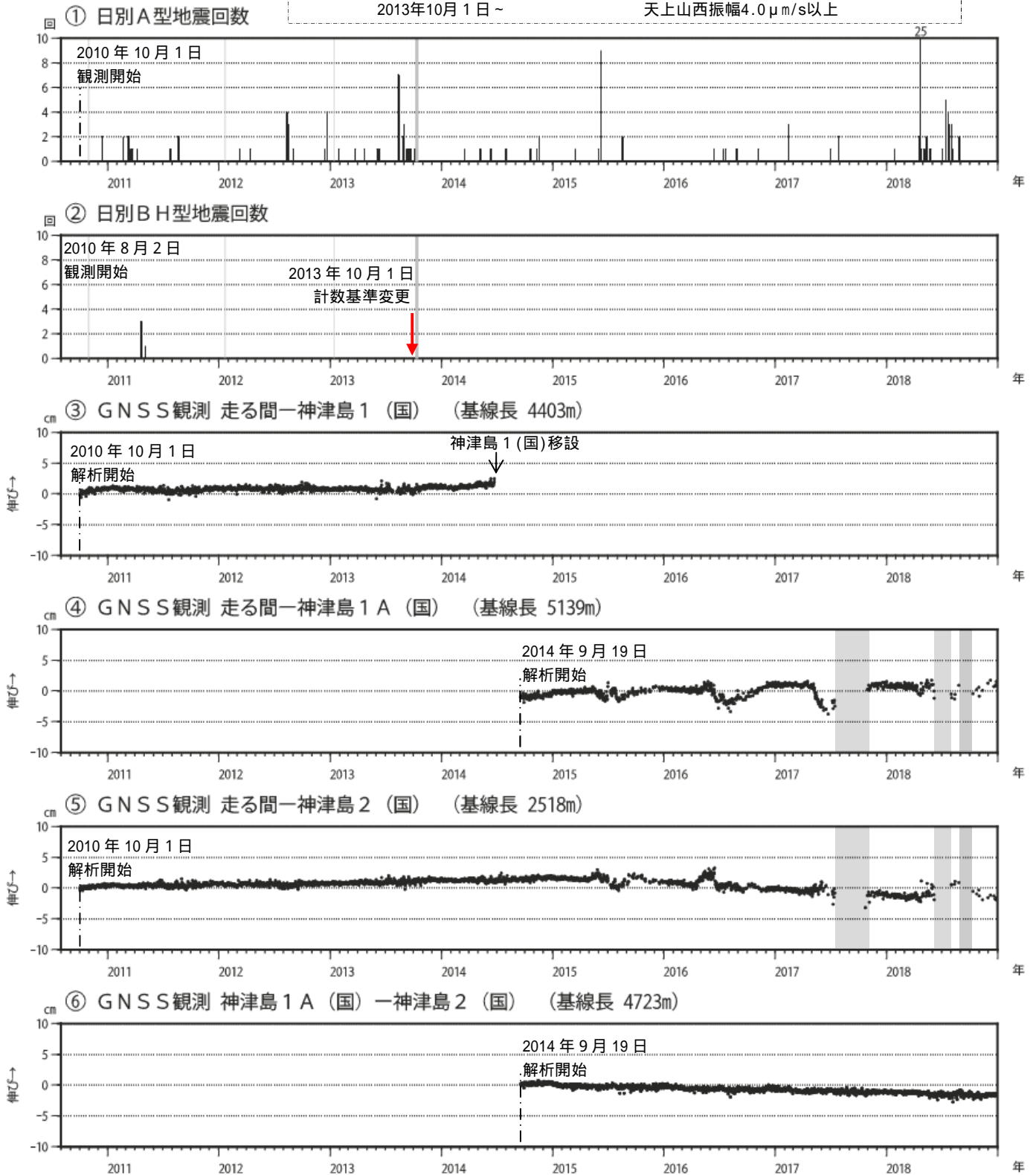


図3 神津島 火山活動経過図(2010年8月2日～2018年12月31日)

図の灰色部分は機器障害による欠測を示します。

～ (国): 国土地理院、～ は図1のGNSS基線 ～ に対応しています。  
 2014年9月19日に、神津島1を神津島1Aに移設しました。

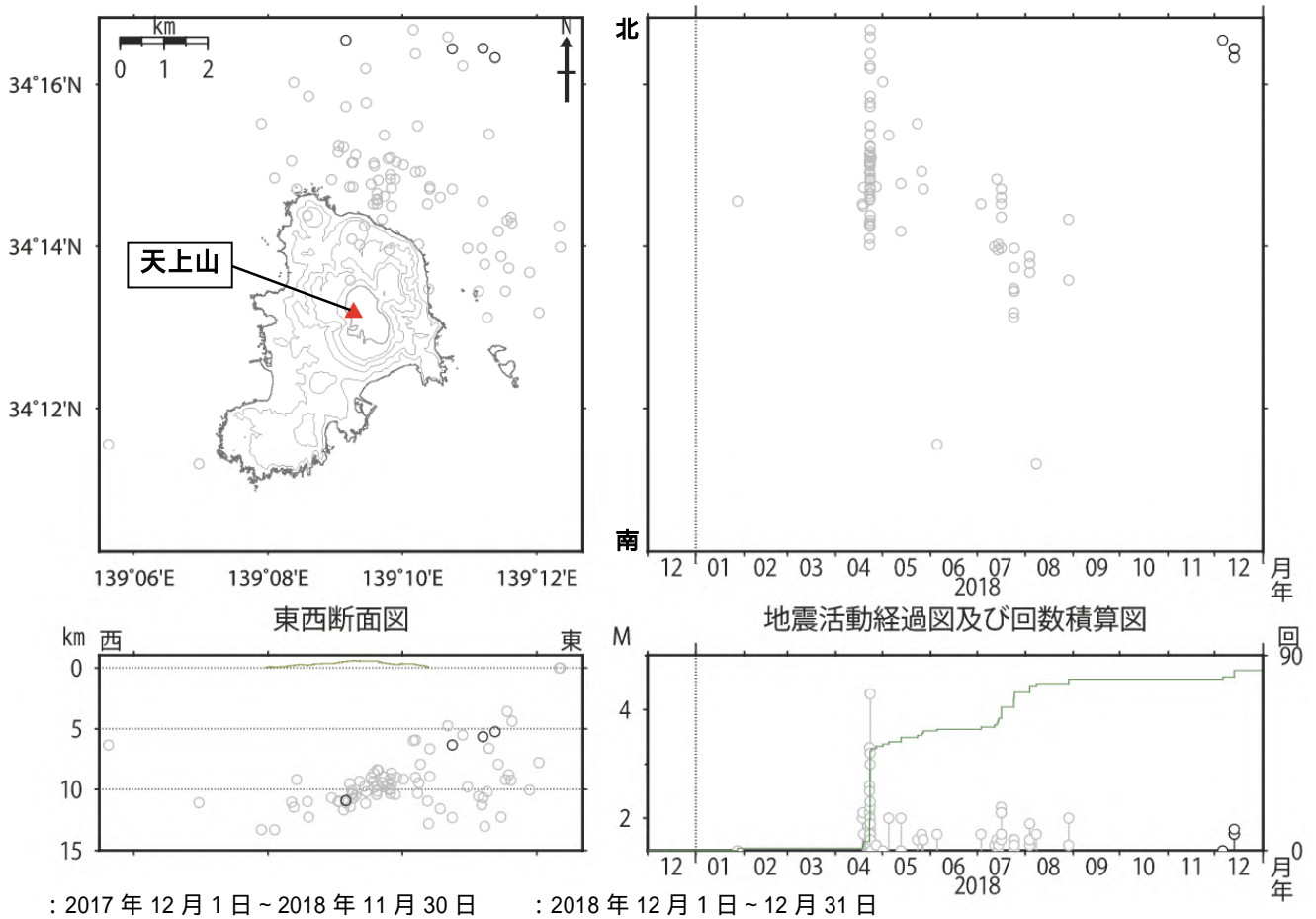


図4 神津島 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動(2017年12月1日～2018年12月31日)  
 広域地震観測網により震源決定したもので、深さは全て海面以下として決定しています。  
 M(マグニチュード)は地震の規模を表し、M1.4以上の地震を表示しています。  
 図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。

・今期間、神津島の山体及びその周辺に震源が求まる地震は少なく、地震活動は静穏に経過しています。